

# 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]  
作成日 平成21年 4月13日

【評価実施概要】

事業所番号	4071602033		
法人名	(有) コスモピア		
事業所名	グループホーム コスモピア高良内		
所在地 (電話番号)	福岡県久留米市高良内町3919-5 (電話) 0942-44-6500		
評価機関名	(株) アーバン・マトリックス		
所在地	北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル 8階		
訪問調査日	平成21年3月12日	評価確定日	平成21年4月16日

【情報提供票より】H21年2月26日

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 17人 非常勤 2人 常勤換算	17.0人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り (すずらん) 木造造り (たんぼぼ)	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	100000円			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	1日あたり 850円			

(4) 利用者の概要( 2月 26日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	8 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.5 歳	最低	65 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	つむら診療所 毛利歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

コスモピア高良内は、高台にある広い敷地の中に、ゆとりをもって建てられた2ユニットのグループホームである。桜並木に囲まれ、整備された緑地公園に隣接しており、散歩等で立ち寄った際には、近隣住民や子供たちとの交流の場となっている。近隣にある協力医療機関の医師や看護師とのチームケアにより、入居者の様々な状況に対応しながら、本人本位の穏やかな生活を支援することに努めており、本人・家族の安心にも繋がっている。今後はさらに地域活動への積極的参加を予定しており、取り組みが楽しみな事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価以後の取り組みにより、見守り体制の強化や、水分摂取量の確保と記録、権利擁護に関する研修の充実等に、積極的な取り組みを行い、改善が確認できた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が、自らのケアの具体的な見直しの機会として位置づけ、全員で確認し取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	家族代表・民生委員・地域包括支援センター・市町村担当者・ホーム職員の参加により、2ヶ月に1回定期開催されている。入居者の生活状況や行事報告、懇親会等について報告を行い、質疑応答によって活発な意見交換がなされ、サービスの質の向上に繋がっている。今後、地域の方々や行政との関わりについて検討し、交流を深めたいと考えている。また、町内会への加入により、地域の方々との更なる連携強化を図りたいと考えている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関に意見箱を設置している。また、家族が訪問した際に入居者の生活状況を報告し、意見や要望を伺うように努め、運営推進会議や職員会議において話し合い、本人主体の対応を心がけている。家族とのコミュニケーションを大切にし、様々な意見が言えるような関係作りに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的に行われている散歩や買い物時に、近所の方々との挨拶や会話を積極的に交わり、馴染みの関係を作るようにしている。また、近隣の中学校の文化祭へ出掛けたり、職場体験の受け入れ等を行っている。今後は運営推進会議を通して、介護相談会等、地域へ向けての行事の企画など、認知症についての理解を深める活動を行っていきたいと考えている。

2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「常に思いやりの心を持ち福祉介護を通じ地域社会に信頼される事業を目指す」という、地域密着型サービスの意義をふまえた、理解しやすい理念を作り、地域の中でその人らしく暮らせるホーム作りに努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の朝礼やミーティング時に、運営理念や方針、使命を職員全員で唱和し、思いやりの心で一日のケアができるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩の途中や隣接する公園などで、地域の方々と笑顔で挨拶をかわし、馴染みの関係づくりを育んでいる。敬老会や近隣中学校の文化祭にも積極的に参加し、交流を楽しんでいる。今後は地域への貢献として、近隣の清掃活動を行ってきたいという考えもあり、地域の一員としての積極的な活動を予定している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価の結果を真摯に受け止め改善し、次へのステップへと繋いでいる。また、全職員で日々のケアの確認・具体的な見直しを行なうことで自己評価を行っている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、家族代表・民生委員・地域包括支援センター職員・市町村担当者・ホーム職員等の参加があり、2カ月に一度、定期的に行なわれている。運営状況や行事の報告、質疑応答などを行いサービスの質の向上に活かしている。		

コスモピア高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村主催の各種研修会に、積極的に参加するようにしている。ホームの状況や困難な事例を相談し、日ごろからコミュニケーションを図り、情報の共有をしながらサービスの質の向上に繋がるように取り組んでいる。また、市町村から介護相談員の派遣をうけ、相談に応じてもらっている。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について、管理者は、全職員への理解を充実させていきたいとの考えがある。今後内部・外部研修への参加で理解を深め、必要に応じて活用の支援ができるようにしていきたいと考えている。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族訪問時に入居者の状況報告や、出納帳の確認等を行っている。また、毎月一度、個別に写真を添えて、職員の手書きによる手紙が郵送されている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にメッセージボックスを設置している。家族訪問等に、ホームに対する意見や不満を表出しやすいよう、十分なコミュニケーションを図るよう努めている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、職員の異動による影響を配慮しており、日頃からユニットを問わず、入居者と職員の馴染みの関係づくりに努めている。止む得ず離職する場合は、引継ぎの期間や人員配置、サービスの質の確保に努めている。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。	職員の採用に関して、性別や年齢等を理由に排除せず、公平性を意識して採用している。職員一人一人の特性をケアに活かせるように、職員間の役割を考慮している。また、資格取得への対策など極力協力している。		

コスモピア高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	人権の尊重については、入居者だけでなく職員にとっても重要な項目であるので、外部研修やセミナー等には積極的に参加できる環境を作っている。また、朝礼時には、倫理に関する教養本を読み、意見や感想を述べ合うようにしている。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	管理者・職員共に、グループホーム協議会や市主催の研修会等に積極的に参加するように努めている。また、ミーティング時には研修内容を伝達したり、資料等をファイリングするなどして情報を共有している。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	グループホーム協議会を通して、他のグループホームとの交流を行なっている。今後は、同業者間の訪問や交換実習等を行いたいと考えている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	徐々に馴染んで入所して頂くために、十分な説明を行い、自宅訪問や、本人・家族に見学に来ていただくなど、安心してサービスを利用できるように配慮している。また他のサービスも含めた柔軟な支援に努めている。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	日々の会話の中で、地域の行事や伝統料理等を教えていただくことがある。また、入居者一人ひとりの生活歴から見えてくる得意分野を、毎日の暮らしの中での役割としている。(畑仕事・洗濯たみ・花の水遣り・縫い物等)		

コスモピア高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	本人や家族との会話や生活歴の中から、見えてくる意向の把握に努めながら、個別に対応するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人・家族の意向を、普段の会話の中から把握し、参考にしている。また職員の暮らしの中での関わりで感じた課題を解決するために、サービス担当者会議・ケース会議等で意見を出し合っている。医療面においては看護計画が立てられ実施されている。		入居者一人ひとりの基本情報・アセスメントシートを作成することで、解決すべき課題が把握されやすい。また、職員全員が共有することで、目標に向けた具体的なケアができるように思われる。
19	39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	基本的に3ヶ月に一度の見直しを行なっている。また緊急時や身体的状況の変化があれば、期間に係わらず、介護計画の見直し・変更を行なっている。		普段の会話の中から入居者にとってどのようなことが楽しいのか、また、興味があるのかを細かく記録し(東京センター方式等の活用)目標達成のための具体的な手段・方法として活用することで実現可能な計画の見直しとなるように思われる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	家族が通院に付き添えない場合は、職員が随時行っている。医療連携が密に取れているので、医療に関して気軽に相談出来る関係が出来ている。また、隣接したディサービスとの交流等を楽しんでもらっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入居者は、入居前のかかりつけ医を受診したり、本人・家族の同意を得、ホームの協力医へと変更し継続的な医療を受ける事が出来ている。また、往診や訪問歯科診療を定期的に行い、往診結果を職員全員で共有するなど、入居者の健康管理を支援している。		

コスモピア高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	入居者が重度化した場合や終末期のあり方について、状況に応じて、その都度本人・家族の意思を確認し、方針を共有している。ホームで最期を迎えたいという希望があれば、家族・医療関係者・ホーム職員の協力体制の基で支援している。入居の際に看取りに関しての方針を説明し、同意を得るようにしている。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	入居者一人ひとりの生活歴や性格に合わせた対応や、言葉かけを行っている。個人ファイルや記録物は、鍵付きのキャビネットで保管され、不必要な書類はシュレッダーで処理し、情報管理が行われている。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	入居者一人ひとりの希望と状況に応じて、個別に対応している。外出・買い物も馴染みのある場所・店に出掛けるようにし、家族との面会も制限等はしていない。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	入居者一人ひとりの好みや能力に応じ、食材の下ごしらえや配膳、下膳などを職員と共に行っている。職員は入居者と同じテーブルで同じ食事を取り、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいる。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	ユニット毎に入浴日と時間帯が決められている。体調や希望に合わせて、無理のない範囲で入浴の支援が行われている。入浴剤を利用するなど、入浴を楽しんでもらえる様な工夫がされている。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

コスモピア高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や職歴から、得意とされる分野での能力が発揮される様な場面づくりや、支援ができるように努めている。畑仕事・ペンキ塗り・食事の下ごしらえ・洗濯物たたみ・配膳準備等、一人ひとりの希望や能力に応じた役割が発揮できるよう配慮している。また、地域行事や季節に応じた外出やドライブが計画されてい		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、近所のスーパーへ買い物にでかけたり、隣接した芝生の公園・ユニット間の散歩等、戸外へ出る機会を積極的に作っている。散歩の途中、近所の親子連れと挨拶や話をする事ができ、地域の方々と交流にもなっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵を掛けることの弊害を理解し、日中は鍵をかけないケアを実践している。帰宅願望があり、一人で外出されそうになった場合は、職員と共に納得されるまで外出に付き合うようにしている。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1度の防火訓練と、2ヶ月に1度の避難訓練が実施されている。地域の消防団との連携を取りながら、緊急時の連絡網・誘導・避難場所の把握が出来ている。		運営推進会議等を通して、防火訓練及び避難訓練への、地域の参加や協力体制を充実させたいとの希望があり、今後の取り組みに期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は入居者の状況や希望を取り入れ、職員全員で工夫している。自力摂取が出来ない方に関しては、状態に合った介助を行い、食事制限がある方に関しては、「病気と食事療法について」の研修を行い、職員全員で知識や意識を高める取り組みが行われている。食事量や水分摂取量は表への記載を行い管理されて		

コスモピア高良内

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	広く落ち付きのあるリビングには、ソファや椅子が置かれ、入居者が自由にくつろげる空間が確保されている。玄関アプローチからエントランスにかけ、プランターや花瓶に、季節の花々が彩り豊かに飾られており、季節感にあふれている。また、対面式キッチンからは食事作りの音や匂いが感じられ、家庭的な雰囲気を感じる事が出来る。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室には、自宅で使い慣れた鏡台・筆筒・仏壇等が持ち込まれている。また家族の写真や装飾品が飾られ、一人一人個性豊かな、居心地の良く過ごせる空間となっている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			